

岡山東 週報



2018-19年度 国際ロータリーテーマ

BE THE INSPIRATION

国際ロータリー会長

バリー・ラシン



2018-19年度 岡山東RC 活動方針

「親睦を深化し、一隅を照らそう」

岡山東RC 会長 舟橋弘晃

会長	舟橋弘晃	幹事	内山 淳
会長 エレクト	藤岡千秋	副幹事	貝原明宏
		S.A.A.	齋藤信也
副会長	山下和也	副S.A.A.	大西直規



岡山東ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 / 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 木材会館4F
TEL. 086-222-9590 FAX. 086-224-4288
<http://www.okayama-higashi-rc.jp/> E-mail oke@ok6rc.jp

例会場 ● 岡山プラザホテル 〒703-8256 岡山市中区浜2-3-12 TEL.086-272-1201
例会日 ● 木曜日 12:30~13:30

2018.7.26 第2387例会

No.2231

▶本日のプログラム

「末長範彦ガバナー公式訪問例会」(A方式)

8月2日のプログラム

「お祝行事」
「会員増強月間にちなんで」
浮田實会員増強委員長

例会報告 (7/19)

出席報告

会員数 99名(内出席免除者13名)
出席者 82名(内出席免除者出席12名)
出席率 83.67%(前々回訂正後出席率89.90%)
ビジター 8名

お食事

大海老フライ定食, スパゲッティサラダ,
キュウリとワカメ・油揚げの酢の物, 御飯,
汁, フルーツ, コーヒー

会長挨拶

皆様こんにちは。本日は、備前RCと岡山丸の内RCから新任のご挨拶にお見えます。心より歓迎申し上げます。

さて、「平成30年7月豪雨」への対応として、先週12日に臨時理事会を開催・承認頂いた後に、13日に山陽新聞社会事業団へ義援金を寄付させていただきました。また、当クラブが気仙沼で奉仕活動をした際のカウンターパートの坂井政行氏が届けられる支援物資の受け取りと倉敷市への引き渡しを当クラブが担当し、荷物の積み下ろしを中国学園大学の学生さんにお手伝いいただき事業を15日に実施しました。活動いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

当クラブの事業は、周到な計画と準備の下に実施されていますが、今回の支援物資の受取は緊急事業であり、相手先から話があり、理事会で緊急承認、実施までわずか3日という慌ただしさでしたが、理事のご理解と、関係各位のチームワークで遂行されました。当クラブの組織的瞬発力が発揮された好例かと存じます。これも、普段の親睦があってこそです。どのような事態にも岡山東ロータリークラブらしく対応できるよう、今後も親睦を深め合っていたきたいと存じます。

今週も「親睦を深化し、一隅を照らそう」でお願いします。本日も例会をお楽しみください。

幹事報告

1. 荒川謙三ガバナー補佐訪問第4回クラブ協議会の日程を8月2日(木)11:15~12:00(第2回理事会後)に変更して開催いたしますので、関係各位はよろしくお願いたします。
2. 「平成30年7月豪雨」に対する義援金は皆様からの募金が130,300円となりました。ありがとうございました。特別会計予備費と合わせて100万円を山陽新聞社会事業団に寄付いたしました。
3. ガバナー月信のファイルをレターボックスの上に置いておりますので一人一部ずつお持ち帰りください。
4. 次週7月26日(木)の例会は、末長範彦ガバナー公式訪問例会となっております。上着、ネクタイ、RIテーマバッジ着用の上、ご出席の程よろしくお願いたします。
5. 他クラブ週報を回覧いたします。

備前ロータリークラブ例会訪問

備前ロータリークラブより、会長 中條新次郎様、副会長 長崎信行様、幹事 向井厚信様、S.A.A 徳永夕子様にお越しいただき、中條会長様にご挨拶をいただきました。



岡山丸の内ロータリークラブ例会訪問

岡山丸の内ロータリークラブより、会長 半田雄三様、副会長 延原寛紀様、幹事 宮本忠明様、副幹事 布目浩二様にお越しいただき、半田会長様にご挨拶をいただきました。



委員会報告

●親睦活動委員会 弘中環 副委員長

本日例会終了後、2階「曲水の間」にて第3回親睦活動委員会を開催いたします。

●創立50周年・祝宴委員会 福武義修 副委員長

本日例会終了後、4階「鷺羽の間」にて創立50周年・祝宴委員会を開催いたします。

●昨年度 ゴルフ同好会 三垣日出人 昨年度親睦活動委員長

昨年度ゴルフ同好会メンバーの方に「オリジナル・ネームタグ」をポスティングしています。ご確認ください。

米山記念奨学金の授与

米山記念奨学生のチュイ メイさんに舟橋会長より7月の奨学金が授与されました。



●菅野正則 職業奉仕委員長

本年度 職業奉仕委員長を仰せつかりました菅野です。どうぞよろしくお願いいたします。

委員には、近藤(聡)副委員長、勘藤委員、斉藤(良)委員、朝霧委員、土岩委員。以上の6名で(職業奉仕委員会)として活動をさせていただきます。

本年度の舟橋会長が掲げられたクラブ方針「親睦を深化し、一隅を照らそう」を信念に職業を通じて専門的知識などを会員で分かち合い実践する事で社会に奉仕する。日々勉強しながら委員会活動を行って行きたいと考えております。

活動計画といたしましては、職業奉仕月間での卓話、クラブフォーラム、会員事業所における優良職員の表彰、優良企業の職場訪問といった例年通りの事業を考えております。そして、出席委員会と共同事業で京都東ロータリークラブ例会メークアップツアー、翌日京都妙心寺退蔵院訪問副住職の法話を予定しております。活動計画は以上です。

職業奉仕委員会全員で知恵をふりしぼって委員会事業を行っていく所存でございます。会員皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。就任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



●神田豪 社会奉仕委員長

本年度社会奉仕委員長を務めさせていただきます、神田豪です。委員会メンバー：富山副委員長、堀会員、井上(英)会員、大河原会員、高橋会員ともども一年間どうぞよろしくお願いいたします。当委員会では、舟橋会長の「親睦を深化し、一隅を照らそう」のスローガンのもと、以下の事業を検討しています。

1. ～身近な「子供の貧困」を救うインスピレーションとなる、居場所作り支援活動～

(青少年奉仕委員会と合同開催)

- ① 啓発シンポジウムの開催
- ② 子ども食堂への参加及び支援

2. 旭川荘での梅の植樹
3. 投壺・投扇興競技後楽園大会への協賛

また、現在、新天地育児院で普段は一堂に会する機会が少ない子どもたちが相互に触れあい楽しめる機会ができないかと検討を行っています。

さらに、7月6日から7日にかけての大雨による災害に対して、出来るだけの支援を行いたいと考えています。まず、先週は取り急ぎ被災状況やボランティア等に関する最新情報を取りまとめ、会員の皆様にお伝えしました。今後は、刻々と変化する被災現場のニーズに合致した支援策を検討してまいります。

奉仕活動においては、善意の押しつけにならないよう相手側のニーズをよく把握し、しっかり信頼関係を構築した上で事業実施をすることを心がけています。皆様にも様々な事業にご協力いただき、会員相互の親睦が深化するよう努めてまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



●佐々木篤 国際奉仕委員長

本年度国際奉仕委員長を務めさせていただきます佐々木でございます。

委員会メンバーは「辻副委員長、安藤会員、三垣会員、大橋会員、世良会員」の総勢6名です。一年間よろしくお願いいたします。

バリー・ラシン RI 会長のテーマは“Be the inspiration” (インスピレーションになろう)、末長範彦地区ガバナーのスローガンは“チャレンジしよう”，そして舟橋



弘晃会長のスローガンは“親睦を深化し、一隅を照らそう”です。特に今年度は当クラブの創立50周年テーマ“友と未来へ”に従って、会員自らが「入りて学び、出て奉仕せよ」の精神のもと一人でも多くのクラブ員が積極的に加わることが出来る国際奉仕活動を実施したいと考えております。

具体的な活動としましては以下のとおりです

1. 外務省のODA 出前講座又は NGO 相談員の出張講座の開催。
(近隣ロータリアンと共に国際奉仕、国際協力の知識を深める)
2. ベトナムホーチミン市内の学校でのベトナム RY 学友会クラブと Nurture the dream との合同イベントの開催。
3. 過去に実施した図書の寄贈等の事業(日本で使用しなくなった図鑑や絵本を収集配布)をベトナム RY 学友会と共に実施する。
(ベトナム RY 学友会の今後の地域活動の起点とする)

舟橋会長のもと一生懸命頑張っておりますので、会員の皆様にはご指導ご鞭撻そしてご協力をよろしくお願いいたします。

●和氣伸吉 青少年奉仕委員長

舟橋会長のもと、今年度、青少年奉仕委員長を務めさせていただきます和氣伸吉です。よろしく申し上げます。

今年度、舟橋会長は「親睦を深化し、一隅を照らそう」を会長方針に活動されます。この「一隅」の意味を調べてみると、「お金や財産は国の宝ではなく、家庭や職場など、自分自身が置かれたその場所で精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、何物にも変えがたい宝である。一人ひとりがそれぞれの持ち場で全力を尽くすことによって、社会全体が明るく照らされていく。自分のためばかりではなく、人の幸せ、人類の幸せを求めていこう」というような意味合いであり、ロータリー活動そのものを表しているような言葉です。

この言葉をさらに深く考え、一年間活動して参りたいと思います。

具体的には、社会奉仕委員会と合同で9月17日(月・祝)にさん太ホールで開催されます「身近な「子どもの貧困」を救うインスピレーションとなる、居場所づくり支援」と題してシンポジウムを開催する運びとなっております。

経済的な貧困、家庭で親子の関わりが減っている愛情の貧困。貧困という意味では色々な形がありますが、現実には経済的な貧困の身近なケースが多く存在しているということ。そして、そのことを地域の方や私たちが気づかず生活している実態を知っていただき、みんなで支え合える仕組みづくりを考えるお話をしていきたいと思います。今回は特に、ひとり親の母子家庭・父子家庭の労働環境にすこしメスを入れ、子どもが居ても安心して安定した生活が送れる企業を紹介していきたいと思います。

具体的には、川崎福祉大学の講師直島先生をコーディネーターにお招きをし、パネラーには岡山市岡山っ子育成子育て支援部の大谷課長様、YMCA せとうち代表理事太田様に、今の身近に感じられる子供の貧困について話をしてもらい、労働環境については、岡山県社会保険労務士会会長林様。また、今回、具体的にこのようなひとり親環境の職員を抱え素晴らしい取り組みをされている、株式会社ドゥ・ワン・ソーイングの総務人事課課長の福田様にお越しいたいただき、労働環境の取り組みについて話をさせていただくこととなっております。

このような活動を通して、今年度、青少年に関わる事業を、藤坂副委員長をはじめ、平井委員、石原委員、宮本委員、山下(貴)委員で頑張っておりますのでよろしく申し上げます。

